



広報

No.505
2020.2

祝

刊

尻

町

成人

式

成人式



新成人の皆さんおめでとうございます!

令和元年 第4回町議会定例会

第4回町議会定例会は12月10日招集され、補正予算等を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。主なものは次のとおりです。

〔条例制定〕

◆利尻町第一号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例

◆利尻町第二号会計年度任用職員の給与等に関する条例

◆利尻町会計年度任用職員に伴う関係条例の整理に関する条例

○本条例は、会計年度任用職員制度については、平成二九年改正され、令和二年四月交付される「地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律」の規定に伴い、現在採用しております。現時的任用職員を会計年度任用職員に移行するため、名称・給与等含め必要な条例を制定し、関連する各条例の内容を整理するものです。

〔条例制定〕

◆利尻町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

○本条例は、「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の公布と、住民基本台帳法施行例等の一部を改正する政令が公布され、印鑑登録証明事務処理要領の一部が改正されたことに伴い、本条例の一部を改正するものです。

改正の主なものは、印鑑の登録を受けることができない欠格条項から「成年被後見人」を削除し、「意思能力を有しない者」と条文を改め、施行令の改正に伴い婚姻等により「氏」に変更があった方の、変更前の「旧氏」による印鑑を用いた印鑑登録及び「旧氏」を併記した印鑑登録証明書の交付規定を整備するため、所要の条文を改正するものです。

◆利尻町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○本条例は、人事院勧告に準じ、利尻町職員の給与等

について条例を改正するものです。

人事院は、令和元年八月七日国会及び内閣に対し、国家公務員の給与等について勧告を行い、一〇月一日に閣議決定し、一〇月一日の国会にて可決成立となりました。本町においても、国に準じ、月例給及び勤務手当等を改正するものです。

◆利尻町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準等に関する条例の一部を改正する条例

○本条例は、根拠法令である「子ども子育て支援法」など関係法令の一部が改正されたことに伴い、本町の条例の一部を改正するものです。

改正の主なものは、「子育てのための施設等利用給付」が創設された事に伴い、「子どものための教育・保育給付」と同様の規定が設けられたことから、関係条文の規定を整備するため、所要の条文を改正するもの

です。

◆利尻町公共下水道条例の一部を改正する条例

○本条例は、「成年被後見人の利用の促進に関する法律」に基づく措置として、成年被後見人等であること理由に不当に差別されないよう、成年被後見人等に係る欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」が公布されたことに伴い、本条例の一部を改正するものです。

改正の主なものは、排水設備指定工事店指定の基準と、指定工事店に置く工事責任技術者の登録の資格について、欠格条項を削除し、必要な能力の有無を判断するために、必要な条文を改めるとともに、その他所要の形式的な改正をするものです。

【専決処分】

◆専決処分した事件の承認を求めることについて（令和元年度利尻町簡易水道特別会計補正予算（第二号））

歳入歳出それぞれ一一九万八千円を追加し、歳入歳出予算の総額を一億二四一〇万七千円としました。歳出の主なものは次のとおりです。

○施設管理費

一一九万八千円

◆専決処分した事件の承認を求めることについて（令和元年度利尻町下水道事業特別会計補正予算（第三号））

歳入歳出それぞれ一一二万円を追加し、歳入歳出予算の総額を二億三九二万九千円としました。歳出の主なものは次のとおりです。

○施設管理費

一一二万円

◆専決処分した事件の承認を求めることについて（令和元年度利尻町砕石事業会計補正予算（第一号））

資本的支出で六三二万円を追加し、資本的支出総額

を七三二万円としました。主なものは次のとおりです。

○建設改良費

六三二万円

【各会計補正予算】

※△は減額です。

	補正額（増減）	予算総額
一般会計補正予算（第3号）	5,543万7,000円	38億7,232万3,000円
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	56万6,000円	3億4,834万9,000円
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	167万3,000円	4,502万3,000円
介護保険特別会計補正予算（第2号）	△7万8,000円	2億6,709万1,000円
簡易水道特別会計補正予算（第3号）	△123万8,000円	1億2,286万9,000円
下水道事業特別会計補正予算（第4号）	△4,433万5,000円	1億9,495万9,000円
漁業集落排水施設事業特別会計補正予算（第3号）	△273万8,000円	6,952万6,000円
宿泊施設特別会計補正予算（第1号）	78万9,000円	2億4,033万6,000円

意見書を提出

本定例会において、意見書を提出し、原案の通り可決しました。

「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに、「福祉医療制度の実施に伴う

国保国庫負担金の削減措置廃止」を

求める意見書

二〇一八年二月八日の参議院本会議で、「成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律」（成育基本法）が全会一致で採択された。

成育基本法では、「成長過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進する」ことを目的に掲げ、「社会的経済的状況にかかわらず安心して次代の社会を担う子どもを生み、育てることができる環境が整備されるように推進」することを基本理念とし、国は「成育医療等の提供に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する」としている。

成育基本法を契りあるものにするためには、住んでいる自治体による差をなくし、妊産婦（母子保健法六条で妊娠中又は出産後一年以内の女子と規定）について費用の心配なく医療が受けられるようにすることが不可欠である。

また、「妊産婦医療費助成制度」をはじめとした福祉医療費助成を現物給付で実施している自治体に対する国庫補助金の削減措置については直ちに廃止すべきである。

よって、国におかれては、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

※意見書内容は一部抜粋

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣



松村 栄悦 議員

人口減少と高齢化社会への
今後の考え方について

松村議員 人口減少と高齢

化社会への今後の考え方について、「利尻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」における目標人口は、二〇二〇年に二一九人、二〇四〇年は一五五四人としております。また、多方面にわたって配慮されたまちづくりが計画され、実践されていることは十分承知をしているところで、理解を致すところではあります。本年一〇月の住民基本台帳を見ますと、人口は二〇〇〇人となっております、すでに現在の人口は、二〇二〇年の目標人口を割り込み、想定以上に人口減少と高齢化が進んでいるように思います。また、厚生労働省が九月二六日に公表

した再編や統合の検討を求め、公立病院の中に利尻島国保中央病院も含まれており、人口減少と高齢化が進む本町にあって、住民の不安が増して行くのではないかと考えられますが、今後に向けた利尻町の在り方などについて、町長の考えをお伺いいたします。

保野町長 現行の「利尻町

まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」につきまして、平成二八年三月に策定し、スタートをいたしました。この間、社会環境は一層厳しさを増しておりまして、策定当初以上の速さで人口減少が進んできております。ご指摘のとおり、結果として現状では

「利尻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」における目標を下回る人口となっております。この「利尻町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」は、今年度見直すこととなっており、改めて現在の時代背景にあった人口に対する考え方を取りまとめて行きたいと考えております。もちろん、基本方針は人口減少に歯止めをかけることであり、まずは、利尻町で暮らす町民皆さんの町への満足度向上と、それによって活き活きと暮らす町民の皆さんの姿を見て、島外から移住したい、利尻町に深く関わってみたいと考えてくれるような移住希望者や関係人口を増やしていくことであります。人口減少については、利尻町のみならず全国各地において深刻な状態になっていきます。当然ながら、いかに人口減少に歯止めをかけることが各自自治体町村として取り組んで行かなければならない喫緊の課題だと考えてお

ります。そしてこの減少傾向を引き起こしている本質的な課題は若年層世代の流出、出生率の低下、高齢化の進行を起点に、産業の停滞と衰退、教育格差の進行と質の低下、商業の停滞・衰退が起り、さらには利活用できない空き家の増加、雇用機会の減少、子育てや高齢者支援の環境整備の停滞・衰退が続くという負の連鎖に繋がっていくという危機感を持っております。こうした個別課題に対していくことがこれからも重要なことだと考えております。利尻町では、私の町長就任一期目から、これらの課題を明確に意識して七つの柱として政策方針を示し、町の存続をかけた課題解決に向けて取り組んで参りました。一例としては、まず定住移住推進を図るための施策に特化した定住移住推進係を新設しました。そして若年層世代の流出や教育の格差振興と質の低下については、教育委員会における

社会教育の充実、公営塾の開設などによって、一時的に都市部に出る若年層世代も、また故郷に戻ってくるような人材育成に努めると共に、利尻高校への進学促進などにも取り組んできたところでありました。また、産業・商業の停滞と衰退、雇用機会の減少に向けては、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金などを積極的に活用しながら、雇用機会拡充や基幹産業である漁業・観光業等の振興を進めるための様々な施策を実施・展開をしてきております。転入世帯の奨励金の拡大や、漁業就業フェアなどで漁業者を目指す若者や町内漁業者への応援を含めた、漁業後継者への支援の拡大、加えて町内商工業者の活性化を助長するための支援制度を創設したほか、すでに高校生までの医療費の個人負担分の無料化を他に先駆けて始めるなど、本町の体力に合わせ、少しでも住みやすいまちづくりに力を注いできたところであります。

これまで、町外から来て漁業に着業している皆さんをはじめ、漁業後継者の皆さんとその人方に繋がる関係人口は大変大きなものがあると思っております。事例の一部を少しお話いたしました。また、昨年度、利尻町未来共創ビジョンとして作成し、今年度からスタートしました第六次利尻町総合振興計画では『「今」を暮らすみんなと共に、「未来」を創造する町づくり』というビジョンの下で行政だけでなく、町民の皆さんと共に未来を作っていくために、現状の町の中で足りない機能を補いながら、定住移住推進に繋がるような取り組みを進めているところであります。今後に向けては、漁業の担い手となる就業希望者を積極的に受け入れることをはじめ、陸の働き手も含め、弾力的、横断的に機能して行ける中間支援組織、これは先般の議員協議会でも協議をさせていただきましたが、定住移住支援センターを設けて、町内外

の官民連携による定住移住施策をさらに積極的に進めてまいりたいと考えております。移住希望者に対する対応の質を向上させるためにも、現在進めております杓形中学校の利活用により、町民の定住意識の向上、新たな移住希望者の獲得推進に繋がるようなコミュニケーションの場として活用して行きたいと思っております。いざずれにいたしましても、現実をしっかりと受け止めながら、人口減少に歯止めをかけるための施策を前進させて行く考えであります。最後に、ご質問の中で病院の再編統合の件に触れられておりましたので、この件についてお話をしておきたいと思っております。先程、行政報告でもお話ししました。九月二七日であったと思いますが、厚生労働省が入院効率化等を意として、公立公的病院のうち、再編統合の必要な機関を公表しました。北海道内五四施設、うち、宗谷管内では四施設が

上がりまして、その中に利尻島国保中央病院も含まれておりました。全道の町村長による政策懇談会で離島病院の担っている役割、実態を説明して単に机上での発想だけで病院の評価をされることは大変不本意である旨を申し上げたところでもあります。道庁の関係幹部も離島という地域事情を考えると再編統合は難しいという認識でありました。離島に人が住み続けるためには、島民の健康と命を守る医療機関の存在は必須の条件であり、そのために不採算の科目についても開設をしているところでありまして、利尻・利尻富士の二町がしっかりと連携をしながら、中央病院を堅持して行かなければならないと思っております。これからも国や北海道に離島病院への財政支援を要請して参りたいと考えているところであります。以上を申し上げます。一般質問に対する答弁とさせていただきます。

松村議員 ただいまの町長の答弁で、大まかなことはその通りかと認識するところではあります。町長が平成二五年に就任をして、それ以来七つの抱負を掲げて、人口減少と高齢社会に取り組んできた姿勢は認めるところではあります。現実問題として町長が就任した時には人口は二二九五人で、今現在すでに二〇〇〇人という状況にあり、色々な取り組みは評価をしながらも、これが現実ではないかと思えます。また今後を見据えたときに、現在六五歳以上の高齢者も八一六人と高齢化比率も非常に高いことから、現実には想定以上に人口減少と高齢化社会へと変化していくと思っております。さらに、国保中央病院の今後の在り方によつては、町長も答弁されたように、離島の病院については、各方面にわたって支援をいただいている経緯は私も承知しているところでありますが、現実問題として、町民や島民の多くの方々は、今後こ

の病院はどのようになるのか、また、それによつては島から出て行かなければならない、あるいは高齢者の人や持病の持つて居る方は、先々大変だというような声も聞こえている状況にあり、まず、今後の病院の在り方について、議会や病院組合など関係機関と協議をしながら方向性を見出して、町民にお知らせする義務があるのではないかと思います。町長の考えをお聞かせ願います。

保野町長 まず人口減少については、過疎化に防止をかけるということが私に限らず、歴代の先輩首長方の第一の柱でした。自分が役場にお世話になった頃は、本町の人口は八〇〇〇人程おりました。それがこまごま減ってきたことは歴代の首長も手をこまねいていたわけではなく、少しでも人口を残すための施策は一生懸命されてきたと思っております。自分が町長を預かって、さらに厳しい背景を考えた

ときに、本町に限らず、出生率も含めて全国的に減少してきています。この先、日本の人口は都市部に集中して行くと思いますが、日本そのものが人口減少している中で離島など、自分達もここで生まれて育っていますから、ここが一番だと思いながらも、病院とか生活環境も変わってきていることで島民が減ってきている現実はいささか受け止めないでだめだと思っております。自然増で増やすことは容易なことではないと思っております。利尻の環境の素晴らしさを広く全国に訴えて、外からの人方に入ってきてもらい、町をきちっと継続していく体制になればというところで、政策を掲げて、議会の皆様も含め、町民の皆さん方にもご理解をいただいで、町政を進めさせていたでいております。

ただ、外から来てもらうために、都会の人が自然がよいとか、海がある、山があるだけで来るわけではありませので、長く慣れた都会での生活に大きなギャップを感じない自然体で田舎に行きたいと考える人が多くなっている中で、さり気なく利尻に行ってみて、交流人口として関わってもらった人が、ここに住んでも不自由はないと思えるような環境を早く作りながら、外からの移住人口で本町の人口を盛り返して行きたいというのが、基本的な私の過疎防止のための政策であります。現実には漁師道の方は親方を頼って、全然漁業の経験のない若者がここ数年で一四人も一五人もなっていて、その人方がお嫁さんもらって子どもができて、四〇人も四五人も五〇人も影響人口が増えてきていることを考えますと、それ以上減っていくのが早いものですから、プラスには転じることはできなくても、間違いなく人口減少を遅くし、鈍化させる助けにはなっているものと思っております。そこで、この政策をもう一歩二歩前に出して、外から入ってきてくれる人

が、利尻に行つてははじめは半年でも、ずつとこれからも住んでももらえるような生活環境の受け皿を作つて行かなければならないと思つています。もちろん、昔から利尻に住んでまちづくりに関わつてくれてる地元の人との格差をつけることは出来ませんから、その均衡は十分に念頭に置きながら進めて行かないと、これから先の利尻はやはり人口が少ないと町の勢いが衰退します。少しでも人口が減るのを止めたい一途で、今職員の事も借りながら、町民の皆さん方の応援ももらいながら進めているところでありますので、ぜひ、ご支援をいただきたいと思つています。最後に病院の係は、北海道には、離島の病院を格差をつけないで下さいということには機会あるごとに言っております。今回も副議長と稲田代議士との懇談会にご出席していただいで、私が稲田代議士に利尻島の病院の事情を訴えたことは傍で聞いていた

いたと思いますが、利尻に病院を置かなければ人は住み続けません。人が住み続けないと町が成り立たない。国も有人国境離島法を新しく平成二九年に作った背景は、国際的にも国防にも国益にも離島の存在が見直されたと思つていて、これに対する国の支援の内容を厚くしてほしいということ、私一人では叶いませんが、関係離島の町長方と一緒に連携を取りながら、離島振興を訴えていきたいと思つています。まずその最たるものは医療機関をきちんと堅持することだと思つておりますので、先程言つたように北海道の離島の統合・再編というのは極めて、私は現実離れしているものと思つてますから、北海道も理解をしてくれておりますので、色々な機会に離島の病院の存立を守つて行くよう努めて参りたいと思つたので、事情をぜひご理解いただき、再質問に対する答弁とさせていただきます。

松村議員 今、町長が答弁してのように、人口問題については、利尻島だけ、あるいは利尻町だけの問題でなくて全国的な問題であることは私も十分に認識はしているつもりです。町長もこれまで人口減少の対策として漁業振興や商工業などに支援をし歯止めをかけ、あるいは定住移住促進も実行して、住民を増やそうと努力していることは評価するところであります。ただ、現実として、病院の問題も町長が答弁されてるように、私も稚内に町長と一緒に同行してますから、病院の在り方について少しでも良い方向で維持管理できるように、町長が訴えていることは十二分に認識しているところでありますが、やはり町民の多くの方は大きな不安を持っていて、その在り方によつては、島外に、あるいは町から出て行かなければならないということもありますので、その辺を十二分に認識をし、今後とも、この問題に取り組

んでももらいたいと思います。さらには町長が言うように町を継続していくためには、一〇年後、二〇年後、自分達が暮らす地域は多岐に渡り、多くの問題に苦悩することが考えられます。そこで、その一つとして人口が減ることによって行政サービスが維持困難となり、自治体消滅の可能性も生まれてくると考えられ、あるいは、幼児・児童・生徒も減少し、学校の存続などについても危ぶまれることから、これらの課題を今一度、再認識し、危機意識を持って抜本的な改革、住民の不安解消に努力するようお願いを申し上げ、質問を終わりたいと思います。

保野町長 利尻町に人を残すための努力は、町長を預かっている者の一番の使命だと思っております。町の人手とのコンセンサスも大事にしながら、利尻を守っていかないといけないと思っております。随分と札幌が近くなりました。五〇分で行

ける時代です。本当に大きな病院でなければ命を繋いでいけないときは、早い時間に大きな専門的な病院に行ける時代になったと、そういう意味では、離島と言われている利尻が札幌に近いところになったことは、これはありがたいことだと思っております。ただ、そういう病気になる前に、医療機関が島にあることは必須だと自分は思っていて、日常いつでも行ける病院が傍にあることは、どこの田舎でも大事なことです。から、まして、海に囲まれている地域にとつて、病院は守っていかないとならない、外から入ってきてもらう人も増えて、一つ一つ指摘は、本当に危機感持っています。が、一遍に改善することは至難なことでありますので、自分達の町の財政力なども踏まえながら、順を追って、議会とも相談させてもらいながら一歩一歩前に進む町でありたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

町政の主人公は町民の皆さんです！

議会を傍聴しましょう

定例町議会は年4回(3・6・9・12月)に開かれます。

令和元年度第39回全国中学生人権作文コンテスト 旭川地方大会奨励賞と 稚内人権擁護委員協議会優良賞を受賞

全国中学生人権作文コンテストの表彰が利尻中学校で行われ、旭川地方大会で奨励賞を受賞した同校3年生星田和真くん、稚内人権擁護委員協議会から優良賞を受賞した生徒に対して賞状と記念品が伝達されました。



右から 星田和真くん、三浦あすかさん、松野琉斗くん、高橋桜太くん、志摩奏太くん、濱口 空さん



今月は利尻島国保中央病院 杉原医長からひと
言いただきました。



みなさんの
数値は
どのくらい？

(保健指導係)

〈糖尿病は症状なく体を蝕んでしまう病気です〉 ※資料1参照

糖尿病は様々な臓器がいわば「老化」してしまう病気です。眼、腎臓、足などの細かい血管ほどダメージを受けやすく、心臓の冠動脈などが障害されれば、若くても心筋梗塞などによって死に至る可能性も高まります。

その一方で、基本的に無症状である厄介な病気です。健診で引っかかっても「仕事が忙しい」ため医療機関を受診せず、結果的に回復の難しい合併症を抱えてしまう方も少なくありません。将来にわたって元気にお仕事をして頂くため、もし周りにそんな方がいらっしゃるときは、是非、受診をお勧めして下さい。また、糖尿病の治療では「HbA1c」という値を大事にします。これは最近1～2か月の血糖値の平均状態を示します。分かりにくいので、私はいつも「体温」をイメージして下さいとお伝えしています。人間ドックなどのデータがある場合は、是非自分と家族の値を確認してみてください。

(資料1)

HbA1c (%)	体温 (°C)
5.0～6.9 合併症予防の値	35.0～36.9 (平熱)
7.0～7.9 最低限の目標値	37.0～37.9 (微熱)
8.0～ 重症化しやすい値	38.0～ (高熱)

(資料2)

身長	BMI18.5 普通下限	BMI22.0 標準体重	BMI25 普通上限
140cm	36.3kg	43.1kg	49.0kg
150cm	41.6kg	49.5kg	56.3kg
160cm	47.4kg	56.3kg	64.0kg
170cm	53.5kg	63.6kg	72.3kg
180cm	59.9kg	71.3kg	81.0kg

〈肥満と糖尿病について〉 ※資料2参照

糖尿病と肥満の関係は深く、糖尿病の診断後であっても肥満を解消することで治療薬が生涯不要になることもあります。肥満はそれだけで変形性膝関節症や睡眠時無呼吸症候群、心臓病など様々な疾患の原因となります。足腰が痛くなれば運動量が減り……と悪い流れを作りやすいので、日頃から適切な体重を意識して、自分と家族の食事や運動に気を配って頂ければと思います。

保健師のつぶやき

保健師 工藤めぐみ

冬場はイベントごとが多く、食べたり飲んだりする機会が多く、活動量も減る為、体重が増えてしまいやすいですね。しかし、「冬が1年の中でも1番体重を落としやすい季節」ということをご存知ですか？理由は、冬になると気温が下がり、体温も必然的に下がります。体温が下がると、体温を保とうとしてエネルギーを使います。このように、冬は、普段どおりの生活でも代謝が上がっており、脂肪を燃やししやすい時期なのです。

このメカニズムを活用して、いつも車で行く所を歩いてみる、歯磨きをしながら運動をする、腹八分目を心がけるなど、出来る事からはじめてみませんか。



木育教室を行いました

令和元年12月7日(土) 利尻町交流促進施設「どんと」にて、宗谷総合振興局森林室主催による利尻町青少年リーダーの会「若葉」会員(町内小学生)を対象とした木育教室が開催され、宗谷森林管理署より利尻森林官が利尻島の森林や林業についての講義を行いました。

講義内容は「森林の役割」～森の恵みと働き～「森林官の仕事」～林業って何をしているの?～「木材利用の意義」～木を使うことの良さと木製品～「利尻島の森林の現状と将来について」～実はピンチ?利尻島の森林～の4部構成で行いました。

森林率約80%の利尻島においても地元の小学生は、なかなか森林の中に入って遊んだり、勉強する機会がありません。そのため、講義では森林について出来るだけ分かりやすく、興味や親しみを持ってもらえるよう映像や「漫画」を多用しつつ、会話のキャッチボールをしながら説明を行いました。

木育教室後半では「森の恵み」を使用したミニクリスマスツリー等の工作も行いました。シラカバの輪切りの上に松ぼっくりのツリー、シラカバのサンタとトナカイ、ミズナラのドングリをアクセントに。子ども達はそれぞれの個性を発揮させて利尻島の森につながる材料をふんだんに使った工作を楽しんでいました。

利尻島においては国有林・民有林ともに森林資源が成熟期を迎えており、資源の有効利用により循環させることが大変重要です。20年後の将来を担う子ども達が森林の不思議や面白さを学ぶことから「地域の財産」である森林に興味を持ち、利尻島の森林について考えてもらえるよう、森林事務所は今後も支援していきます。

執筆：宗谷森林管理署 利尻森林事務所 森林官 中嶋



利尻山の森林について説明



森林官の道具紹介(かんじき)



作品(松ぼっくりのミニツリー)



森の恵みを使用した工作の様子



集合写真



まなび^{かふえ}café Ri-shi^{りっし} (利尻町公営塾)の活動報告

町民の皆様へ報告会のご案内

利尻町公営塾『まなび^{かふえ}café Ri-shi^{りっし}』では、日頃どのような活動を行っているのか、町民の皆様へ直接お伝えするために活動報告を行います。どうぞお気軽にお越しください。

日時 2020年3月17日(火) 午後5時半より

会場 利尻町交流促進施設 どんと 1F 体験実習室

内容 2019年度『まなび^{かふえ}café Ri-shi^{りっし}』活動報告



昨年度報告会の様子

昨年度も年度末に報告会を行いました。公営塾『まなびcafé Ri-shi』での学習指導内容や教科学習以外の取組などを報告させていただきました。また、昨年度は卒業生3名からもコメントをいただきました。

公営塾での生徒の様子



まな^{かふえ}café 基本情報

日時 平日 15:30～21:00 出入り自由

場所 旧開発宿舎

対象 高校生

月額料金
1年生 3,000円
2年生 5,000円
3年生 7,000円

**新規利用者
1ヶ月間無料!**



『まなび^{かふえ}café Ri-shi^{りっし}』

お問合せ：利尻町公営塾『まなび^{かふえ}café Ri-shi^{りっし}』

☎0163-84-9112(知らせますケン)

☎080-2298-0912(携帯)

E-mail : rishirijuku@gmail.com

URL : <https://manabi-cafe-ri-shi.localinfo.jp/>



街をひと歩き

まちの話題にズーミング!

1月3日 利尻町成人式



1月13日 新春少年カルタ大会



ふるさと定住促進



出産祝金をお渡ししました!

利尻町では、ふるさと定住を促進する目的で、町内に定住の意志が認められる方が3人以上出産した場合、出産祝金を支給する事業を行なっております。

この度、沓形字泉町の荒関巧さん・みゆきさん夫妻に4人目のお子さん（慎くん）が生まれ、保野町長から出産祝金が贈られました。

わが家の愛

りしりんが
わが家の愛どるを
紹介するよ♪



今回は、2人のお友達
を紹介するよ!



たけひさ 常磐井武寿くん(3さい)

父：武栄 母：恵利子

戦隊ものが大好きで
いつも元気いっぱいのだけひさ。
弟もできてお兄さんになりましたね。
これからもそのままの
たけひさでいてね!



【お母さんから】

せな 星田瀬風くん(3さい)

父：友樹 母：千嘉

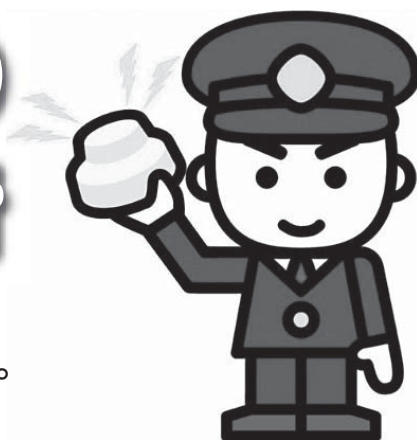
少し泣き虫で甘え上手で
いじられキャラのせな。
明るくてみんなに優しく
強い男になってね。



【お父さん・お母さんから】



住宅用火災警報器の 設置状況報告



昨年11月に実施した一般家庭の防火点検の結果、利尻町管内の住宅用火災警報器の設置率は96%でした。防火点検のご協力、ありがとうございました。

独居老人世帯 (70歳以上)の 特別査察を実施します

2月中旬に、消防署と役場くらし支援課合同で、独居老人世帯の防火査察及び健康面のチェック等を行いますので、ご協力をお願い致します。

令和2年 利尻町消防団出初式



〈分列行進 徒歩部隊〉

利尻町消防団の出初式は1月7日、沓形地区を会場に来賓28名を迎え、団員55名が参加し厳粛に挙行されました。

利尻町交流促進施設どんとで行われた式典では、来賓の皆様よりお祝いの言葉を頂き、また、長年消防団活動に尽力された団員の方々に表彰状の伝達及び授与が行われました。



〈分列行進 車両部隊〉



〈式典〉



〈表彰状授与〉



出動件数 火災0件 救急5件 (令和2年1月16日現在)



ぴいぷる

(戸籍の動き) 2020年1月16日現在

はじめまして! ベイビー

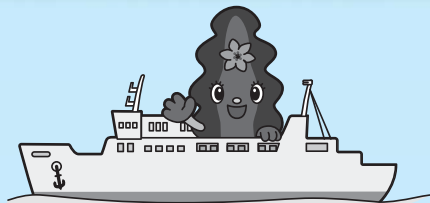
おめでとうございます!

12月6日 吉安^{ゆづき}悠月^{ちゃん}
富士見町〔吉安 健二・梨亜〕

12月25日 水貝^{とおり}斗織^{くん}
新湊〔水貝 和広・衣織〕

おくやみもうしあげます

12月18日 政泊 佐藤 當恵さん (98歳)
12月30日 政泊 須藤 フサエさん (95歳)
12月31日 (杓)本町 大塚 京子さん (91歳)
1月5日 富士見町 石岡 敏子さん (82歳)
1月5日 緑町 斉藤 照彦さん (88歳)



●よせられた善意●

【一般寄附】

- ◆利尻町杓形字富士見町
株式会社吉安組
代表取締役 吉安 隆也様より
一金 100,000円
- ◆札幌市豊平区月寒東1条16丁目1-8
海老名 弘 美様より
一金 100,000円
- ◆稚内市富岡2丁目5番2号
町村 幸 雄様より
宅地 3.30㎡
仙法志字元村59番2
宅地 13.45㎡
仙法志字政泊41番11

【指定寄附】

- ◆利尻町杓形字緑町
佐藤 美子様より
一金 30,000円
(特別養護老人ホーム備品購入資金)
- ◆利尻町仙法志字久連
須藤 實様より
一金 100,000円
(特別養護老人ホーム備品購入資金)

ご厚志に対し
厚くお礼申し上げます

●ご厚情に感謝申し上げます●

【利尻町社会福祉協議会】

この度、次の方々から愛情銀行に金一封及び物品が預託されましたので、紙上を借りてお礼申し上げます。

- 杓形字緑町 佐藤美子様から、母 佐藤當恵様の香典返しを廃して
- 仙法志字久連 須藤 實様から、母 須藤フサエ様の香典返しを廃して
- 仙法志字政泊 工藤明美様から、母 石岡敏子様の香典返しを廃して
- 札幌市西区 牧野恵子様から、母 大塚京子様の香典返しを廃して
- 杓形字緑町 斉藤リエ様から、夫 斉藤照彦様の香典返しを廃して



発行：利尻町役場 編集：まちづくり政策課企画振興係 印刷：(株)国境
TEL 0163-84-2345 FAX 0163-84-3553
利尻町公式ホームページ <http://www.town.rishiri.hokkaido.jp/rishiri/>
Eメール kikaku@town.rishiri.hokkaido.jp
(広報りしりに関するご意見ご要望は上記E-mailアドレスまでお寄せください。)



【まちの人口】 **1,993人** 世帯数 1,057世帯 男 978人 女 1,015人 (令和2年1月16日現在)